



共に学び・共に成長する場

—お茶の水女子大学附属図書館のこれまでとこれから—

平成25年11月19日(火)

新潟大学附属図書館セミナー：

ラーニング・コモンズの明日を紡ぐ

～アクティブ・ラーニングを支援する新図書館モデル構想～



お茶の水女子大学
図書・情報チーム
森 いづみ

お茶の水女子大学の概要

- 学生：約3,000名 + α
 - 学部生：約2,000名 (3学部) 大学院生：約1,000名 (1研究科)
 - 研究生、科目等履修生、聴講生、etc.
- 教職員：約500名 + α
 - 教員：約300名 職員：約100名 附属学校園：約100名
 - リサーチ・フェロー、アソシエイト・フェロー、非常勤講師
 - アカデミック・アシスタント、ティーチング・アシスタント
- キャンパス内に様々な世代の学びの場が集結
 - ナーサリー(保育園)、幼稚園、小学校、中学校、高校(女子)

お茶の水女子大学の理念

- 大学憲章に掲げられた標語
 - 「お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する。」
- 校歌「**みがかずば**」
 - みがかずば 玉もかがみも なにかせん
学びの道も かくこそありけれ
- 附属図書館の理念（2006年制定）
 - 「お茶の水女子大学附属図書館は、**時間と空間を超える知的交流の場**であり、**次世代の知を創造し発信する学術情報基盤**として機能する。」

図書館のLearning Commons: [共に学び・共に成長する]-1

● Commonとは

- 語源: communis: 共有の、共通の、共同の
Cum(と一緒に、共に) + munus(義務、責任)

[出典] SPACE ALC 語源辞典

⇒共に責任を果たす

● ラーニング・コモンズとは

- コモンズ: 地域共同体を示す概念。共有地、公共の広場を意味する。
- 図書館や大学などの施設で自学学習をする利用者の利用目的や学習方法にあわせ、図書館資料やICT(情報通信技術)を柔軟に活用し、効率的に学習を進めるための人的な支援を含めた総合的な学習環境のこと。

[出典] Japan Knowledge

ニッポニカプラス

⇒共に学び・共に成長する

- ・リーダーシップ教育のキーワード “Migakazuba”
Respect for others(心遣い) / Intelligence(知性) / Confidence(しなやかさ)
- ・リーダーに必要な力 = 共にあることで育まれる

by羽入学長

図書館のLearning Commons: [共に学び・共に成長する] -2

- お茶大は全国に先駆けて設置(2007年)
 - 現在では200以上の大学が設置(ここ3年で2倍)
 - アクティブ・ラーニング・スペースと総称される
- お茶大は3つのエリアで構成
 - ラウンジ
 - ゆったりとした寛ぎのスペース
 - 新聞やマガジン、大テーブルやソファなど
 - キャリアカフェ(2007年12月)
 - おしゃれな雲型テーブルとカラフルな椅子、レイアウト自在のグループ学習の場
 - 図書館の本や自動貸出ロッカーパソコンを持ってきて学習に使える
 - ラーニング・コモンズ(2007年4月)
 - 情報基盤センターのパソコンが約70台、ラーニングアドバイザー(LA)が常駐
 - クイックスタンド、自習用、講習会にも使えるエリアなど、用途別のレイアウト

・1日の平均入館者数:
約1,000名
ピーク時:約2,000名
・ラーニング・コモンズ/
キャリアカフェ設置
(06→09年度)入館者
60%増

改革の3つの柱

- 空間機能・・・だけではない
- 蔵書・コンテンツ
 - 学生用図書 の 充実
 - 21世紀型リベラルアーツのテーマに応じた多彩な資料
 - 研究用コンテンツ の 充実
 - 電子ジャーナルのタイトル:2,400→13,000
- 人的支援
 - 学生インターンシップの枠組で図書館サポーターを組織 (LiSA: Library Student Assistant)
 - 4月～9月、10月～3月 年2回募集
 - 2007年11月スタート(第1期:13名、現在第13期:39名)
 - 合計186名(のべ409名)が参加
 - ラーニング・コモンスのヘルプデスクを設置
 - ラーニング・アドバイザー(TA)がPC等のトラブル解決

お茶大図書館といえは

- ラーニングコモンズを早い時期に設置
- 図書館内にカフェがある
- LiSAという学生サポーターがいる
- ピアノコンサートまでしているらしい

→ラーニングコモンズといえはお茶大

→改修や身近な工夫で実現しているから参考になりそう

実際良く使
われている

ハッピー
オーラ♪

悩んでいること-1

空間／人的支援に関すること

- **経費** (LAの人的費／PC導入・保守費)
 - 特別経費「学生主体の新しい学士課程の創成 -21世紀型リベラルアーツと複数プログラム選択型専門教育-」
→平成25年度で終了(現在のところ代替手段は決まっていない)
- **規模**
 - いつも混んでいる、席と席が近い
 - イベントをしていると自習スペースが足りなくなる
- **中身**
 - LAの業務内容はPCやプリンタのサポートが中心
→それって「ラーニング」アドバイザーと言えるの？
→いわゆる「アクティブ・ラーニング」の場になっているの？
 - 情報リテラシー教育支援のあり方は？

悩んでいること-2

蔵書・コンテンツに関すること

● 蔵書の配置

- 全学蔵書68万冊の半分が24か所の学科等図書室＋研究室に分散
 - ✓ キャンパス・マスタープラン(平成25年6月)で指摘
 - ✓ 平成24年度「外部評価報告書」(平成25年8月)で指摘
 - ✓ 学生からも、研究室配置の図書が使いづらいとの声

● コンテンツ経費

- 円安影響／間接経費縮減傾向
 - ✓ 電子コンテンツ経費確保に課題

● 学生用図書／コンテンツのあり方

- 選書の在り方(何を)、提供の在り方(どのような形で)
- シラバスとの連携／教育との連携

新しい展開-1

- 新図書館構想に取り組むことに(6月)
 - 附属図書館運営委員会の下にWGを設置
 - 空間機能、蔵書・コンテンツ、人材育成の3つのサブグループを設置
 - メンバーは、教員4名、職員4名
- 新図書館を創立140周年記念事業と位置付けることに(11月)



ピンチは
チャンス！

新図書館構想WGの取組み-1

● 建築の専門家を招いた勉強会／図書館見学

 新図書館構想WG空間サブグループ勉強会

2013年11月15日 (金) | 編集 |

こんにちは。チームリーダーの森です。

昨日は、建築の専門家を招き、**新図書館構想WG空間サブグループ勉強会**を行いました。



 プロフィール

 お茶の水女子大学LISA
LISA(Library Student Assistant)メンバーと附属図書館のスタッフです。

*お茶の水女子大学附属図書館 公式サイト
<http://www.lib.ocha.ac.jp/>

 お茶大LiSA Twitter

Tweets Follow

 お茶大 LiSA @ochalisa_lib 8h
LISAブログが更新されました！【新図書館構想WG空間サブグループ勉強会】
fc2.to/0etCDR #お茶大LISA
Expand

 お茶大 LiSA @ochalisa_lib 11 Nov
LISAブログが更新されました！【内定者

新図書館構想WGの取組み-2

● 図書室を有する学科等へのアンケート

– 24か所の学科等図書室中、20か所から回答

- ✓ 学科によってスタンスはマチマチ
- ✓ 学科によっては、共通図書室のものと研究室置きのものが混在

URL http://www.lib.ocha.ac.jp/anq/anq_lib.html

● 教員へのアンケート

– 有効回答数:105 (全体の1/3)

✓ 蔵書・コンテンツ:

- ✓ 学術情報資源の利用状況について(研究室置き/学科等図書室/図書館/電子的資料/その他)
- ✓ 移管した蔵書の配架方式について
- ✓ シェアード・プリントについて
- ✓ 電子的な学術情報基盤について

✓ 学修空間:アクティブラーニングのために必要なスペース

✓ 人的支援:ピアサポートについて/必要な知識・スキル/期待等

URL http://www.lib.ocha.ac.jp/anq/anq_kyoin.html

新図書館構想WGの取組み-3

● 学生へのアンケート

- LA科目「知覚認知と環境デザイン」(第4回)のワークシート
- 有効回答数: 180(1学年500人 1-2年生中心 全体の1割)

(1) 図書館の中に、お気に入りの場所がありますか？

- それはどこですか？ 2階閲覧席／1階ラウンジ／1階ソファ
- どうしてお気に入りなのですか？ 集中できるから／集中・コミュニケーション両方／寝られるから

(2) 人的支援について

- LiSAって知っていた？ 67% やってみたい？ 25%
- ラーニング・アドバイザーって知っていた？ 50%
- 図書館のレファレンスサービスって知ってる？ 20%

新図書館構想WGの取組み-4

● 学生へのアンケート

(3) 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？

－ 学修空間：アクティブラーニング（能動的学修）のために必要なスペース（複数選択可）

○ <u>集中して学習／研究するための個別空間</u>	88%
○ <u>パソコンを使って自習／共同学習ができる空間</u>	82%
○ <u>学習サポートのためのオープンな空間／個別空間</u>	73%
○キャリア支援・キャリア教育のための空間	52%
○学習研究の成果物を作成するためのラボ（大型プリンター等）	50%
○e-ラーニングのための空間	40%
○パソコンやプロジェクタを使った授業（WS）ができる空間	25%
○ICT教室	16%

新図書館構想WGの取組み-5

● 学生へのアンケート

(4) 図書館にあったらいいなと思う空間機能は？

－ コミュニケーションスペース(複数選択可)

○オープンなコミュニケーションスペース	70%
○飲み物を飲みながらコミュニケーションができるスペース	86%
○軽食を食べながらコミュニケーションができるスペース	70%

それは「図書館にあるからいいの？」

「図書館でなくても、学内のどこかにあればいいの？」

集中と協働
静と動の
両方が求めら
れている

アクティブ・ラーニングって？

- 「読解・作文・討論・問題解決などの活動において分析・統合・評価のような高次思考課題を行う学習」

山内祐平ほか「ワークショップデザイン論」慶應義塾大学出版会、2013.6

- ...Student must do more than just listen: They must read, write, discuss, or be engaged in solving problems.

Charles C. Bonwel and James A. Eison “Active Learning: Creating Excitement in the Classroom” ASHE-ERIC Higher Education Reports, 1991

アクティブラーニングのプロセスには
個と多(他)の両方があるのでは

WGの教員から出てきた言葉

- 研究と教育は一体
＝職住接近で研究室ごと図書館に引っ越す？
- 研究室で行われていること
＝アクティブ・ラーニングそのものではないのか？



写真:お茶の水女子大学 公式Webサイトより
<http://www.ocha.ac.jp/>

アクティブ・ラーニング実践例-1

- LIDEE“Life Innovation by Design and Engineering Education” <http://www.eng.ocha.ac.jp/lidee2013.pdf>
ワークショップ形式を基本とした「問題解決型」のプログラム

「アクティブ・ラーニング」としてのLIDEEの特徴

- ✓ チーム作業：自分の考えを他者に伝え、また他者の考えを知ることを体験してもらうため、チームによる作業が基本
- ✓ ワークショップ：結果では無く過程を重要視すること、多様な視点や考え方の「気づき」を体験してもらうため、ワークショップ形式での作業を行う
- ✓ 現場調査や専門家の参加：机上の議論だけでは無く街に出てヒアリングをするなど、現場での体験を重視。できるだけ外部の専門家をお呼びして、現場の声を聴く機会を設定

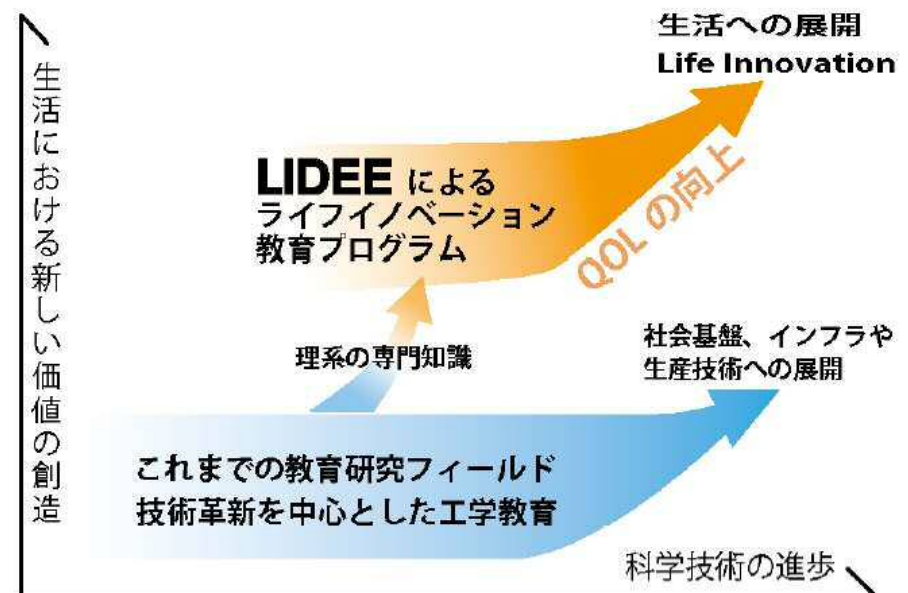
アクティブ・ラーニング実践例-2

- LIDEE“Life Innovation by Design and Engineering Education”

LIDEEの活動から見た求められる空間

- ✓ ワークショップの場所
- ✓ 発表・講評の場所
- ✓ 情報の加工の課題

＋事前調査や
アイデア出しの
スキルも必要？



出典：松田雄二『新図書館構想WG 空間SG「LIDEE」プログラムの報告』

平成25年9月10日 新図書館構想WG第2回打合せ資料

URL: <http://www.eng.ocha.ac.jp/lidee.html>

新しい展開-2

- 文部科学省平成25年度「博士課程教育リーディングプログラム【複合領域型(横断的テーマ)】」に採択(10月)

「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける
理工系グローバルリーダーの育成:

物理・数学・情報の基盤力とチームスタディを基にしたお茶大型理工学ソフトリーダー育成プログラム

- Project Based Team Study (PBTS) への挑戦: PBLをグループ学習からチーム研究に深化させたPBTSを実践する

どこまで
コミットできるか! ?

新しい展開-3

反転授業の
きっかけになるかも?!

- お茶大E-Bookサービスによる理系教科書
「Javaプログラミング入門」の出版 (2013/10/28)

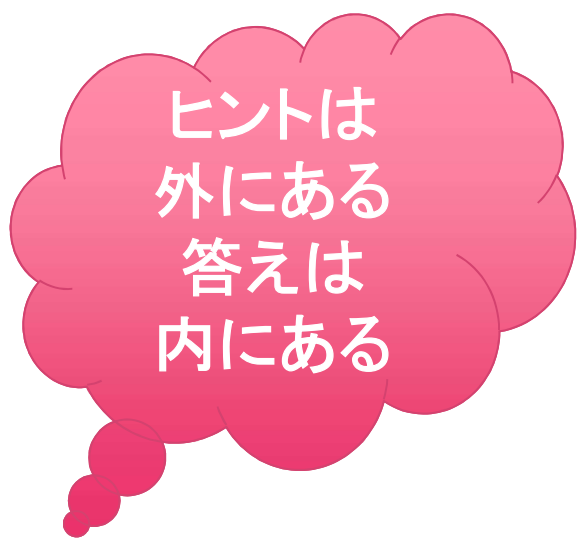
<p>Javaプログラミング入門 ISBN:978-4-904793-04-6</p>		PDF	690	いいね!	234	ツイート	219
表題紙		PDF閲覧	ダウンロード				
まえがき / 謝辞 / 本書の構成 / 学習を始める前に / 目次	p.02-07	PDF閲覧	ダウンロード				
1 計算	p.08-12	PDF閲覧	ダウンロード				
2 条件分岐	p.13-17	PDF閲覧	ダウンロード				
3 反復・配列	p.18-25	PDF閲覧	ダウンロード				
4 クラスとメソッド	p.26-34	PDF閲覧	ダウンロード				
11 【課題】	p.71-75	PDF閲覧	ダウンロード				
ここまでに紹介されたプログラムを拡張してみよう							
12 【付録A】プログラミングとは	p.76-77	PDF閲覧	ダウンロード				
13 【付録B】初めてのLinux環境	p.78-87	PDF閲覧	ダウンロード				
索引 / 参考文献 / 奥付	p.88-90	PDF閲覧	ダウンロード				

DL数: 10月 = 5547
11月 = 654

著者 伊藤貴之先生
Javaプログラミング入門

まとめにかえて

- Unlearningする
過去の否定ではなく、成長し続けるために
- 最大公約数にとどまらない
皆が良いと言うものは良い
・・・でも、それだけですか
- 共に学び・共に成長する場
空間／蔵書・コンテンツ／人
すべてにおいて模索し、実践し続けたい



ヒントは
外にある
答えは
内にある